

今回の原子力部会の検討項目

①設備利用率の向上

- ・ 設備利用率低下の要因及び海外事例の取組分析
(運転サイクル期間、定期検査期間等の日米比較と対応方策)
- ・ 新検査制度への対応・運転中保全の導入拡大、産業界団体の活用等
- ・ 設備利用率の目標

②中長期的な設備容量のあり方(新增設・リプレースの推進等)

- ・ 新增設計画の進捗状況
- ・ 2030年、2050年における原子力発電設備容量のあり方と取り組むべき課題の整理
(新增設、寿命延長、廃炉と円滑なリプレース及び既設炉の出力向上)
- ・ 将来的な廃炉の増加を視野に入れた技術的検討の進め方
- ・ 次世代軽水炉開発の今後の進め方

③核燃料サイクルの推進

- ・ 六ヶ所再処理工場の操業に向けた現状と課題
- ・ 使用済燃料の再処理及び貯蔵を巡る現状と課題
(貯蔵対策の強化、中間貯蔵施設の促進等)
- ・ 高レベル放射性廃棄物の処分に関する現状と課題

④国民との相互理解促進

- ・ 効果的な広聴・広報のあり方
- ・ 次世代に対する原子力教育

⑤地域との共生

- ・ 立地地域における原子力施設との共生のあり方
- ・ 電源三法交付金制度による地域振興のあり方

⑥国際的課題への対応

- ・ 原子力産業の国際展開
(原子力新規導入国市場、米国市場、その他)
- ・ ウラン燃料の安定供給確保
- ・ 核不拡散と両立する国際的な核燃料供給体制の構築

(参考) 今後のスケジュール (予定)

- 3月 5日 「設備利用率の向上」
「中長期的な設備容量のあり方」(新增設・リプレースの推進等)
- 3月29日 「国際的課題への対応」
- 4月 (P) 「核燃料サイクルの推進」
「国民との相互理解促進」
「地域との共生」
- 5月 (P) 「全体とりまとめ」